

令和 7 年度第 4 回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和 7 年 7 月 9 日 13 時 00 分～13 時 30 分

2 場所

本部棟 3 階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学 I R センター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
高嶋学生支援本部長、猪股企画・広報本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、橋本ソフトウェア情報学部長、Tee 総合政
策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会学部教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、中川教育支援室長、松崎学生支援室長、
佐藤研究・地域連携室長、千葉企画・広報室長

[事務局]

森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議 6 月 11 日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) オハイオ大学、中部大学及び本庄国際奨学財団との復興防災学習プログラム並
びにオハイオ大学との交流事業の実施について
高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。
- (2) 岩手県立大学外部研究資金等受入状況について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (3) Google フォーム等の利用に係る情報漏えい対策について
猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があった。
鈴木学長から、Google フォームの利用を中止することは難しいかとの質問があ
った。これに対し、コロナ禍に作成した遠隔授業コンテンツ等のデータが Google

ワークスペース上に保管されている教員がいることを考えると、教育研究会議等での意見交換が必要と考えること、他大学の中には Google フォームの利用を制限している機関もある旨の説明があった。鈴木学長から、回答フォームの利用について学部の中で議論や周知を行っていただき、より情報漏洩トラブルが生じにくい Webclass や Microsoft Forms 使用へ移行してほしい旨の意見があった。

- (4) 令和7年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の結果について
猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があった。

- (5) 令和7年度ハラスメント防止対策研修会の開催について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、ハラスメントと一口に言っても、セクシャルハラスメントを筆頭にパワーハラスメント、妊娠出産介護に関わるマタニティ・ケアハラスメント、カスタマーハラスメントの四類型があり、これらの法律上の定義や該当要件、抵触性はそれぞれで異なっていること、事案の当事者について、アカハラという典型的には教員と学生だが教員間や学生間でも起こり得るなど、細分化と厳格化が進んでいるため、この研修会が誰を対象に、どのようなハラスメント防止のための研修なのかを具体化して説明した方が、研修参加者にとっては分かりやすいのではないかと意見があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和7年度「岩手県知事講話」の公開（遠隔配信）について
- (2) 令和8年度編入学試験（ソフトウェア情報学部）選抜結果について
- (3) 大学院入学者選抜（社会福祉学研究科学内推薦選抜、ソフトウェア情報学研究科第1次募集）出願状況について
- (4) 令和7年度岩手県立大学本庄照子奨学金の採用者決定について
- (5) 令和7年度第1回就職支援連絡調整会議の開催結果について
- (6) 盛岡さんさ踊りへの出場について
- (7) 岩手もりおか学生デジタルアイデアコンテスト2025の開催について
- (8) 令和7年度防災復興支援研究の採択課題の決定について
- (9) 国の修学支援新制度に係る機関要件について
- (10) 次世代育成支援及び女性活躍推進のための一般事業主行動計画に係る令和6年度実施状況について
- (11) 令和7年度第1回安否確認システム報告訓練の実施結果について

以上